

◆今期間のポイント

<主要じょう乱の概要>

- 3月2日は、低気圧がカムチャツカの東に進み、大陸の高気圧が日本海に張り出す。小笠原諸島の東の高気圧が日本の南に張り出す。これら高気圧の間へのびる前線が日本海から本州付近に南下する。
- 3日から5日にかけて、前線が西日本から東日本付近に停滞する。前線上の低気圧が4日から5日にかけて西日本から東日本付近を東へ進む。低気圧の通過後は前線は日本の南に南下する。
- 6日は、低気圧が日本の東を東へ進み、前線は日本の南を南下する。大陸の高気圧が日本海に張り出す。

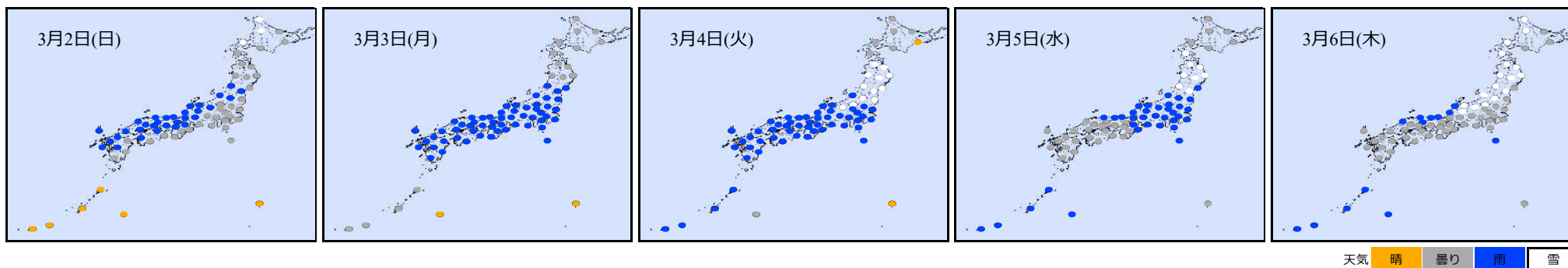
<防災事項> 11時、17時発表の早期注意情報に合わせて当項目は修正する場合があります。

- 期間の前半は日本付近に暖かい空気が流れ込み、気温が平年よりもかなり高くなる所がある。また、3日から4日頃は前線や低気圧の影響により、西日本から北日本で降水量が多くなり、積雪の多い地域では雪解けが進むおそれがある。なだれや融雪に注意。山沿いで降雪量が多くなるおそれもあるので、今後の予想に留意。

※最新の早期注意情報、気象情報、台風予報も参照ください。

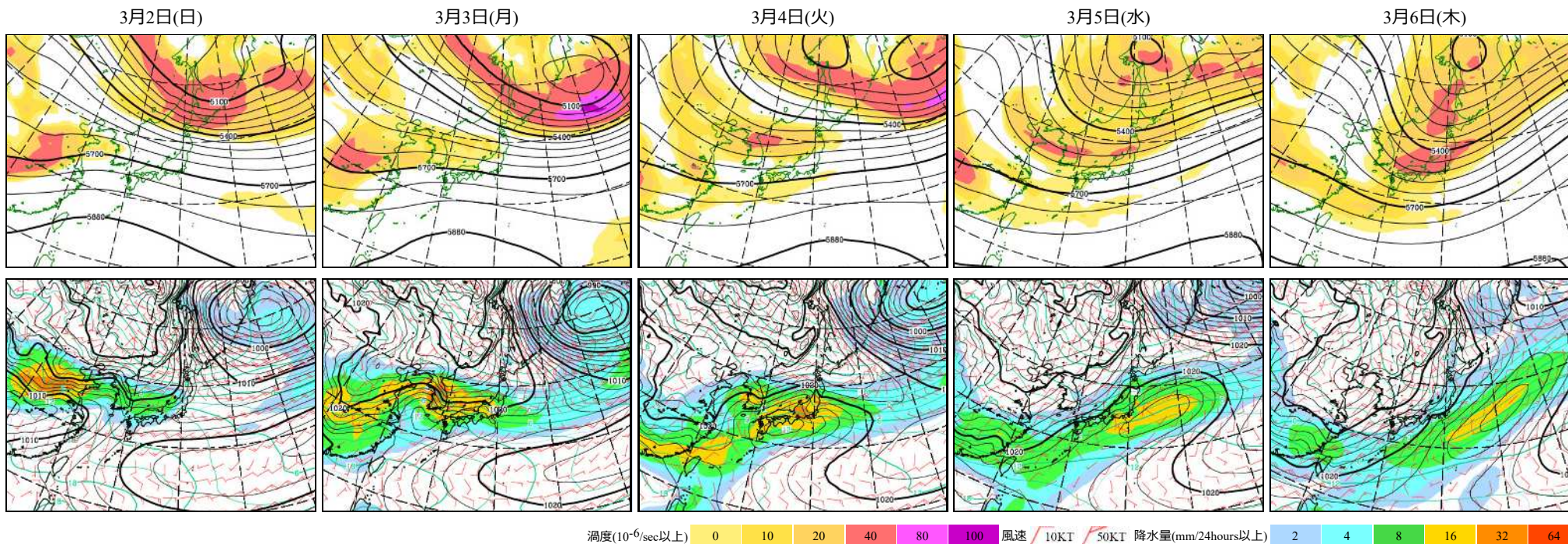
以下の資料は、気象事業者等が、気象庁の提供する週間天気予報の根拠を理解するための補助資料であり、そのままの形式で一般に提供することを想定して作成したものではありません。

◆10時時点の3～7日目の天気予報案 (11時以降は気象庁HP等にて発表予報をご利用ください。)

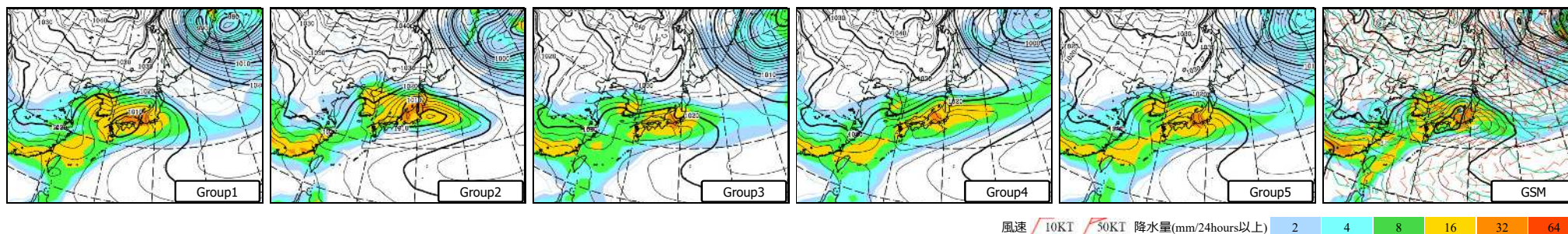


- 北日本から西日本は、曇りや雨または雪の降る日が多い。
- 沖縄・奄美は、3月2日と3日は晴れや曇りで、4日から6日は雨の降る所が多い。

◆アンサンブル(ENS)平均予想図 上図：500hPa高度線、渦度 下図：海面気圧、地上風、前24時間降水量(21時)



◆3月4日のENSクラスター平均(グループ1~5)とGSMの地上予想図 海面気圧、地上風(GSMのみ)、前24時間降水量(21時)



◆昨日資料からの変化と予想のばらつき

- 最新のアンサンブル資料(ENS)は、3月4日から5日にかけて西・東日本付近を進む低気圧の東進がやや遅くなった。期間の終わりは日本付近に進むトラフが深まり、寒気の南下が強まった。
- 3月4日から5日にかけて、各モデルとも西・東日本付近を低気圧が東進する予想となっているが、低気圧の位置や発達程度に初期値変わりがみられ、モデル間で差がある。日本海にも低気圧が発生する可能性があるが、この予想も初期値変わりがやモデル間の差がある。
- スプレッドは縮小した日が多い。特定高度線の予想は、ややばらついた状態が続く。

◆ENSからの修正点とサブシナリオ等の補足事項

- 予報は、おおむね最新のENSを基に考える。